

みずほCustomer Desk Report 2023/02/15号(As of 2023/02/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	132.33 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.35	1.0734	141.97	1.2145	0.6969
SYD-NY High	133.30	1.0805	142.94	1.2269	0.7030
SYD-NY Low	131.50	1.0707	141.55	1.2120	0.6922
NY 5:00 PM	133.10	1.0737	142.86	1.2176	0.6985

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,089.27	▲ 156.66	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	11,960.15	68.36	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	4,136.13	▲ 1.16	米国2年債	4.6208%	0.1012%
日経平均	27,602.77	175.45	米国5年債	4.0036%	0.0923%
TOPIX	1,993.09	15.42	米国10年債	3.7521%	0.0495%
シカゴ日経先物	27,755.00	40.00	独10年債	2.4430%	0.0700%
ロンドンFT	7,953.85	6.25	英10年債	3.5160%	0.1180%
DAX	15,380.56	▲ 16.78	豪10年債	3.7560%	▲0.0280%
ハンセン指数	21,113.76	▲ 50.66	USDJPY 1M Vol	13.14%	▲0.77%
上海総合	3,293.28	9.12	USDJPY 3M Vol	12.58%	▲0.41%
NY金	1,865.40	1.90	USDJPY 6M Vol	11.56%	▲0.28%
WTI	79.06	▲ 1.08	USDJPY 1M 25RR	▲0.93%	Yen Call Over
CRB指数	273.56	0.77	EURJPY 3M Vol	11.91%	▲0.28%
ドルインデックス	103.23	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	11.26%	▲0.24%

東京	東京時間のドル円は132.35レベルでオープン。次期日銀総裁案が提示されるも目立った値動きには繋がらず、前日のドル高の反動から132円ちょうど近辺でのじり安の展開となる。午後には131円台まで割り込み131.79をつけ、131.94レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、131.94レベルでオープン。午後に米指標を控え132円を挟んだもみ合いに。132.00レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2144レベルでオープン。朝方の堅調な英1月雇用統計を受けてポンドは終始買われた。1.2214まで買われ1.2212レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台半ばでスタート。明日の米1月CPI発表を控え、持ち高調整の売りに押されて132円ちょうど付近まで下落。東京時間では政府が日銀総裁・副総裁人事案を国会に提出したことが伝わるも、先週報道された通りの内容だったことから市場の反応は限定的だった。その後レンジトレードが続き、132.00レベルでNYオープン。朝方は米1月CPIの結果を受けて発表直後に131.50-132.94のレンジで乱高下。前月比ベースでは予想通りの内容となるも、前年比ベースでは予想を上回っており、発表直後の売り買いが一巡すると、インフレ長期化懸念が台頭し、ドル円は買い優勢となり、一時133.30まで上昇。午後は買いが一巡するも、133円台前半で底堅く推移し、結局、133.10レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。持ち高調整でドル売り優勢となる中、1.0750近辺まで水準を切り上げ、1.0758レベルでNYオープン。朝方は米CPI発表直後に1.0805まで上昇する場面もあったが、滞空時間は短かった。その後、1.0707まで反落するも、ユーロ円の上昇にサポートされ下げ渋る。午後はじり高推移となり、1.0737レベルでクロス。

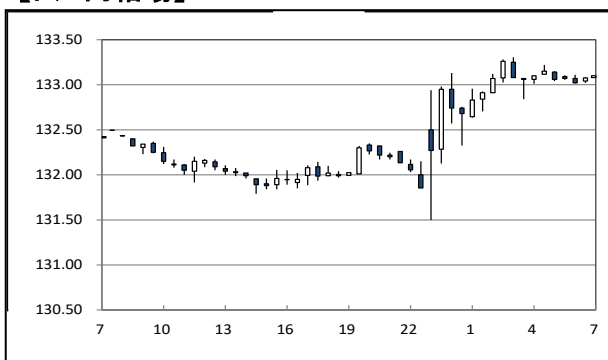
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0.6%/0.2%	2.0%/0.5%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	12月 0.3%/-2.4%	-
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	12月 6.7%	6.5%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0.1%/1.9%	0.1%/1.9%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.5%/6.4%	0.5%/6.2%

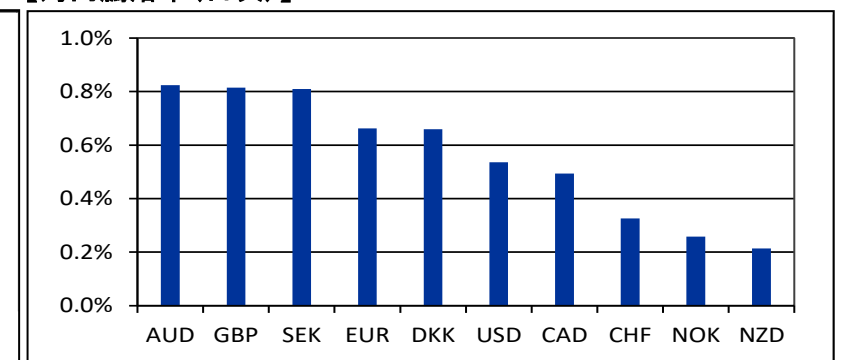
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	1月 -0.4%/10.3%	0.4%/10.5%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -0.8%	1.0%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 -18.0	-32.9
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月 2.0%	-1.1%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	1月 0.9%	-1.1%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 0.5%	-0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50-134.50	1.0650-1.0800	140.50-143.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米CPIの結果を受けて約1か月ぶりの高値圏まで上昇。東京時間132円台前半でオープンし、持ち高調整の値動きで一時132円ちょうど付近まで下落。政府が日銀総裁・副総裁人事案を国会に提出したことが伝わるも、先週報道された通りの内容だったことから市場の反応は限定的。注目の米1月CPIの結果を受けて発表直後に131.50-132.94のレンジで乱高下。前月比ベースでは予想通りの内容となるも、前年比ベースでは予想を上回っており、発表直後の売り買いが一巡すると、インフレ長期化懸念が台頭し、ドル円は買い優勢となり、一時133.30まで上昇し、133.10でクローズした。本日のドル円はドル買いの流れが継続と想定する。月初に発表された米雇用統計の強い結果に続き、昨日発表の米CPIも前年比ベースで予想を上回る結果となったことを受けて、5月のFOMCでの利上げ継続に対する期待感が広がっている状況下、133円台で定着できれば次は1/6につけた高値134円台後半を目指す動きとなるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・大橋